

2022年6月9日

岐阜県知事 古田 肇 様

長良川の環境改善を求める要請書

よみがえれ長良川実行委員会 共同代表 粕谷 志郎
亀井 浩次

貴職は知事就任以来「清流の国」を掲げられてさまざまな取り組みをされてこられました。そのお気持ちをぜひ、長良川再生への政策に反映していただくようお願いいたします。

私たちは長良川河口堰の開門と長良川の環境改善を求める30の市民団体・グループでつくる会です。

長良川河口堰が閉鎖されてすでに26年が経ちました。工業用水でも水道用水でもこの四半世紀の使用実績は河口堰が利水施設として不要であったことを明らかにしました。長良川の誇りであったアユやサツキマスなどの激減など岐阜県の漁業被害は明らかです。何よりもそういう長良川にしてしまった無念の念は多くの県民の思いです。

また、河口域のヤマトシジミ漁は壊滅。さらに愛知県、三重県での小女子漁の連年の禁漁、愛知県が誇るアサリの漁獲高の激減など伊勢湾全体の魚類が減少。これらは、栄養供給の低下と海域の貧酸素化から起きていますが、河口堰などによる川からの「流れの弱まり」が、この状況を助長していると報告されています。

愛知県は2011年に河口堰事業を検証する委員会を設置。環境改善をめざす「開門調査」を提案し、国・事業者と協議の場の設置を求めています。国は頑なに拒んでいます。

岐阜県は、河口堰による環境・漁業の最大の被害者でありながら、塩水遡上による農業の塩害の危惧を理由に、開門調査に背を向けています。

しかし、今提案されている「開門調査」は、塩害の危惧にたいして科学的に丁寧に対応しながら行おうというものです。すでにオランダや韓国では塩害対策も整え開門を実施しています。韓国ナクトンガン河口堰では、今年2月試験開門を終え常時開門が始まりました。3年を経た試験開門で汽水域が復元し、生態系も回復しました。

岐阜県が長良川の環境改善をめざし、開門調査に向け率先して取り組みを始められることを要請いたします。

私たちは徳山ダムの水を長良川に放流する徳山ダム導水路（木曾川水系連絡導水路）事業の中止を求めます。本事業は2007年に国・三県一市の合意にもとづき計画されましたが、長良川の環境悪化を危惧する流域の市民世論の大きな抵抗を受けました。2009年の国交大臣の「凍結」表明を経て、現在「検証中」の事業となっています。岐阜県は徳山ダム建設負担金の約600

億円に加え、被害を受ける可能性の高い導水路事業でも多額の負担をすることになっています。「検討の場」において県民の不安と疑問を表明し、事業の中止を主張してください。

長良川の中流域において、国土強靱化、洪水対策、鶯飼観光振興等の名で河畔林の伐採や河川整備工事が大々的に行われていますが、景観や生物環境に配慮されていません。市民からは、失望と不安の声が上がっています。生物多様性「愛知ターゲット」達成の節目の10年が過ぎました。また、この地域は、世界農業遺産に登録された地域でもあります。生態系の保全と景観を重視した河川工事に努めて下さい。

気象変動による想定を超える洪水が多発する中、河道内だけで洪水を抑えようとする治水のあり方を見直す「流域治水」が求められています。私たちは、輪中や遊水地などの「伝統的治水施設」を重視した岐阜県の施策の充実を求めます。しかし、現在進められている横越「遊水地」計画は、河道内に調節池を建設するもので遊水地と言えるものではありません。この計画は、地元住民の要望・意見から作られたものではありません。住民からは「遊水地」建設による環境・景観破壊や堤防決壊の危険度の高まりなどの不安と疑問の声が出ています。地元住民を無視した横越「遊水地」計画の強行に反対します。

事業費260億円でスタートした内ヶ谷ダム建設事業は、三度にわたる増額で昨年580億円となり、工期も2025年に延期されました。県民負担も増え続けています。もともと便益/費用が1.05と限りなく事業効果がない事業です。愛知県の明治用水事故で明らかになったように堰、橋、水道など経年劣化している大切な施設は数え切れません。少子高齢化社会を迎える中で「建設」ではなく「維持管理」が優先課題と考えます。

コロナは3年目になりましたが、まだ収束には至っておりません。県民の医療体制の確立、生活・営業補償など県民の生活に欠かせない事業へ大切な税金を使ってください。不要不急の内ヶ谷ダム建設事業はいったん中止し再検討すべきです。

以上のことを踏まえ、下記の要請に応じて頂くようお願いいたします。

記

1. 長良川河口堰の開門調査の実施に向けた検討を行ってください。
2. 徳山ダム導水路事業を即時中止するよう「検討の場」において求めてください。
3. 住民の意見を置き去りにした横越「遊水地」計画の強行はしないでください。
4. 「生物多様性」を蔑ろにする河川行政は止めてください。
5. 環境・景観保全を無視した河川工事は止めてください。
6. 内ヶ谷ダム事業を再検討してください。